

平成 28 年度  
事業報告書

(平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで)

学校法人 東京音楽大学

# 目 次

I	法人の概要	
1.	設置する学校等	1
2.	沿革	2
3.	入学定員 及び 在籍者数	2
4.	役員・評議員	3
5.	教職員数	3
II	事業の概要	
	総括	4
III	項目別概要	
1.	人事	4
	(1)人事関係 (2)FD・SD 活動	
2.	施設整備	5
3.	入試・広報	6
4.	大学	
	(1)教育関連活動	7
	(2)演奏活動	8
	(3)学生支援	11
	(4)キャリア支援	13
	(5)国際交流	14
5.	大学院	15
6.	教員研究費	16
7.	地域連携・社会人講座	17
8.	後援会・校友会	18
9.	附属図書館	18
10.	附属高等学校	18
11.	附属幼稚園	19
12.	附属音楽教室	19
13.	附属民族音楽研究所	19
14.	財務報告（別冊）	20

I 法人の概要

1. 設置する学校等

東京音楽大学		
大学院音楽研究科 (博士後期課程)	音楽専攻	
大学院音楽研究科 (修士課程)	器楽専攻	鍵盤楽器 弦楽器 管打楽器 室内楽
	声乐専攻	独唱 オペラ
	作曲指揮専攻	作曲 指揮
	音楽教育専攻	音楽教育 音楽学 ソルフェージュ
音楽学部音楽学科	器楽専攻	ピアノ ピアノ演奏家コース ピアノ演奏家コース・エクセレンス コンポーザー=ピアニストコース ピアノ・創作コース チェンバロ オルガン ヴァイオリン ヴィオラ チェロ コントラバス ハープ クラシックギター フルート オーボエ クラリネット ファゴット サクソフォン ホルン トランペット トロンボーン チューバ ユーフォニアム 打楽器
	声乐専攻	声乐 声乐演奏家コース
	作曲指揮専攻	作曲 (芸術音楽コース) 作曲 (映画・放送音楽コース) 作曲 (ポピュラー・インストゥルメンツコース) 作曲 (ソングライティングコース) 指揮
	音楽教育専攻	応用音楽教育コース 実技専修コース
	附属図書館	
附属高等学校	音楽科	声乐専攻 器楽専攻 作曲専攻 音楽総合コース
附属幼稚園		
附属音楽教室		
附属民族音楽研究所		

## 2. 学校法人東京音楽大学の沿革

1907(明治 40 年) 5 月	東洋音楽学校設立 (神田区)
1924(大正 13 年)11 月	豊島区雑司が谷 (現南池袋) に移転
1947(昭和 22 年) 5 月	財団法人東洋文化学園と改称
1949(昭和 24 年) 3 月	東洋高等学校 (音楽科) 開設
1950(昭和 25 年) 2 月	東洋幼稚園開設
1951(昭和 26 年) 3 月	学校法人東洋文化学園認可
1954(昭和 29 年) 2 月	東洋音楽短期大学設置認可
1963(昭和 38 年) 2 月	東洋音楽大学設置認可
1969(昭和 44 年) 8 月	名称変更認可
	学校法人東洋文化学園を学校法人東京音楽大学に改称
	東洋音楽大学を東京音楽大学に改称
	東洋高等学校を東京音楽大学付属高等学校に改称
	東洋幼稚園を東京音楽大学付属幼稚園に改称
	東洋音楽学校を東京音楽学校に改称
1970(昭和 45 年) 3 月	東洋音楽短期大学廃止認可
1976(昭和 51 年) 7 月	東京音楽学校廃止認可
1993(平成 5 年) 3 月	東京音楽大学大学院音楽研究科修士課程設置認可
2007(平成 19 年) 5 月	創立 100 周年を迎える
2013(平成 25 年)10 月	東京音楽大学大学院音楽研究科音楽専攻博士後期課程設置認可
2014(平成 26 年) 4 月	東京音楽大学大学院音楽研究科音楽専攻博士後期課程開設
2017(平成 29 年) 4 月	東京音楽大学音楽学部音楽学科ミュージック・リベラルアーツ専攻開講

## 3. 設置する学校・学科・専攻、入学定員 及び 在籍者数

		2016年5月1日現在			
区 分		専 攻	入学定員	収容定員	在籍数
幼稚園	付属幼稚園		—	150	138
高等学校	付属高等学校		70	210	238
大 学	音楽学部 音楽学科	声楽	50	200	177
		器楽	195	780	969
		作曲指揮	25	100	126
		音楽教育	40	160	75
		小計	310	1240	1347
大学院	前期課程 (修士)	器楽	36	72	98
		声楽	21	42	44
		作曲指揮	5	10	8
		音楽教育	8	16	14
		小計	70	140	164
	後期課程 (博士)	音楽	3	9	17

## 4. 役員・評議員

役員	理事長	鈴木 勝利			
	理事	野島 稔	佐々木正峰	高祖 敏明	保倉 裕
		佐々木 亮	丸山恵一郎	野本 正平	原山 耕造
	監事	吉田 恭治	福島 啓充		
評議員		野本 正平	西村 朗	大谷 康子	鈴木 信五
		釜洞 祐子	菊地 麗子	坂崎 則子	武田 真理
		岡田 敦子	菅原 淳	小六禮次郎	渡辺 国彦
		原山 耕造	稲葉 良太	在間 聡子	小村久米夫
		広上 淳一	鈴木 勝利	丸山恵一郎	
東京音楽大学長		野島 稔			
東京音楽大学副学長		野本 正平			
大学院音楽研究科長		野島 稔			
付属図書館長		坂崎 則子			
付属民族音楽研究所長		池辺晋一郎			
付属高等学校長		野本 正平			
付属幼稚園長		加納 里美			
付属音楽教室長		村上 隆			

## 5. 教職員数

2016年5月1日現在

教職員数	専任					兼任					合計	研究員	事務局	総計
	教授	准教授	講師	研究員	計	客員教授 特任教授 兼任教授 特別招聘教授	客員准教授 兼任准教授	特任講師 講師	助手	計				
大学	59(20)	33(11)	31(17)		123(48)	38(8)	5(1)	209(100)	45(23)	297(132)	420(180)	24(11)	66(38)	510(229)
大学院						2(1)		1(1)		3(2)	3(2)			5(2)
民族音楽研究所				1(0)	1(0)			5(4)		5(4)	6(4)	2(1)		8(5)
付属高等学校	11(3)		1(1)		12(4)			32(20)		32(20)	44(24)		2(2)	46(26)
付属幼稚園	10(10)				10(10)			2(2)	6(6)	8(8)	18(18)		1(1)	19(19)
付属音楽教室								2(2)	11(11)	13(13)	13(13)			13(13)
総計	80(33)	33(11)	32(18)	1(0)	146(62)	40(9)	5(1)	251(130)	62(40)	358(179)	504(241)	26(12)	69(41)	599(294)

【注】総数(内女性数)

## Ⅱ 事業の概要

### 総括

平成 28 年度は、社会環境が大きく変化する中で、前年度に策定した中期目標・中期計画（平成 28 年度から平成 33 年度までの 6 年計画）をもとに、建学の精神、使命、目的及び 3 ポリシーを踏まえて、音楽家、教育者、研究者、企業人などの将来性豊かな人材の育成に資するため、教育の質を高め、学生・生徒たちの学習意欲の向上と達成感を充足する諸施策について積極的に取組み数々の成果を挙げることができた。

特に中期計画の初年度の主要事業として、「中目黒・代官山キャンパス」を平成 31 年 4 月開校を目的に建設推進するとともに、付属高等学校の池袋キャンパスへの移転統合の準備を進め、B 館の耐震化工事の施工を精力的に実施した。

更に特色ある教育研究の推進のため、平成 29 年度に「ミュージック・リベラルアーツ専攻」を新設することとし、平成 28 年度は、学生受入れのための万全な準備を行い、平成 29 年度入試において定員 12 名のところ 18 名の入学者を得ることができた。この新専攻は、これまで本学が築いてきたクラシック音楽を基盤に「リベラルアーツ」という新しい領域を融合させ全く新しい音楽分野を切り拓くものとして内外から高く評価され多くの期待が寄せられている。

また、野島稔学長の任期が平成 29 年 3 月までであったので、学長選考規程を改正して、新たに学外の学識経験者を含む学長選考会議（議長 高祖敏明理事）による学長選考を行い、野島稔学長が選任された（任期は、平成 33 年 3 月 31 日までの 4 年間）。

平成 28 年度の主要事業の進捗状況の概要は以上のとおりであるが、各部署で実施する事業についても中期計画の初年度事業計画に基づき着実に実施され、特色ある取組みが推進されている。

平成 28 年度事業として本学が取組んできた主な事業は以下のとおりである。

## Ⅲ 項目別概要

### 1. 人事

#### (1) 人事関係

##### 1. 教職員数の推移

###### ①教員について

専任教員： 大学部門では 1 2 3 名で前年比 3 名減。 法人全体では 1 名減。

非常勤教員： 大学部門では 3 3 0 名で前年比 3 名増。 法人全体では 6 名増。

###### ②職員について

採用： 3 名、契約職員として採用

専任職員：大学部門では 6 6 名で前年比 6 名減、法人全体では 5 名減。

##### 2. 人件費について

平成 27 年度決算 269,634 万円、平成 28 年度決算 263,782 万円

人件費比率：平成 27 年度（64.3%）、28 年度（62.6%）

人件費削減については喫緊の課題であり、教員数についてはここ 10 数年来、学生数の減少に対応できておらず、今後の課題となっている。

#### (2) FD・SD 活動

本学は、その教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、教員、事務職員及び技術職員を対象とした、必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修の機会を設けるほか、必要な取組を行うため、FD・SD活動を積極的に行うこととしている。

なお、「大学設置基準等の一部を改正する省令」（平成 28 年文部科学省令第 18 号）が平成 28 年 3 月 31 日に公布され、平成 29 年 4 月 1 日から施行された。この改正により、全ての大学等では、その職員が大学等の運営に必要な知識・技能を身に付け、能力・資質を向上させるための研修（スタッフ・ディベロップメント。「SD」）の機会を設けることなどが求められることとなった（SDの義務化）。本学でもこれに対応するためSD委員会の設置等の整備を図った。

##### ① FD委員会による①FD通信の発行

##### ② スタッフ・ディベロップメント委員会規程の制定（施行日 平成 29 年 4 月 1 日）

#### FD・SD 研修会の開催

##### ① 平成 28 年 4 月 7 日 新任教職員研修会 出席者 19 名

##### ② 平成 28 年 4 月 19 日、20 日 教職員研修会 出席者 264 名

講師：鈴木勝利理事長、野島稔学長、原山耕造事務局長

##### ③ 平成 28 年 8 月 7 日、8 日 事務職員基礎研修会 若手職員 1 名参加

主催：私立大学庶務課長会（於：亜細亜大学）

##### ④ 平成 29 年 2 月 1 日 第 2 回 SD 研修会 出席者 97 名

SDの義務化に向けて 講師：渡辺国彦教授

SDコーディネーター養成講座参加報告

報告者：教務一課主任 小池基

##### ⑤ 平成 29 年 2 月 1 日 第 13 回 FD 研修会④ 出席者 92 名 FD 研修会⑤ 2 月 9 日 出席者 54 名

教育研究業書提出に係る状況説明 講師：渡辺国彦教授

実技担当教員のための論文等の書き方 講師：武石みどり教授

## 2. 施設整備

### (1) 中目黒新キャンパスの着工

新キャンパスは、平成 31 年 1 月の竣工に向け平成 28 年 10 月着工した。

付属高等学校の池袋校舎への移転のための準備検討を行った。

### (2) B 館校舎耐震工事の実施

文部科学省助成事業の内諾を受け、平成 28 年 4 月より耐震施工を行った。平常授業を行いながらの工事で、7 月までの期間は夜間中心の工事、夏期休業期間では昼夜間わずの作業により 9 月 20 日までに、耐震工事を完了した。

### (3) C 館校舎耐震施工では、耐震施工直前の再調査を依頼

構造計算等の見直しにより(5階増築部を除き)耐震数値が基準値に達しているとの報告を受け、校舎本体部の安全を確認している。なお、5階増築部は鉄骨構造のため、強度計算上では基準外であり、別途補強が必要となっている。

(4) J館受変電設備更新工事

平成6年製の変電設備の老朽化により、3日間(春期の休館日)の全館停電による設備更新工事を行った。

### 3. 入試・広報

平成28年度は、例年通り、夏期及び冬期受験講習会、並びに学部的一般入学者選抜試験(A日程・B日程)、指定校推薦試験、弦管打優秀者選抜入学試験、外国人留学生入学試験、ピアノ演奏家コース・エクセレンス選抜入学試験、ピアノ演奏家コース優秀者選抜入学試験及び付属高校からの推薦入学試験を実施した。また、新専攻「ミュージック・リベラルアーツ専攻」AO入学試験を実施した。

①夏期受験講習会	平成28年7月27日～31日	受講者数	378人
②冬期受験講習会	平成28年12月23日～27日	受講者数	368人
③指定校推薦入学試験	平成28年11月20日(日)	受験生数	30人
④管打楽器優秀者選抜試験	平成28年11月20日(日)	受験生数	14人
⑤音楽教育専攻応用音楽コース推薦入学試験	平成28年11月20日(日)	受験生数	2人
⑥外国人留学生入学試験	平成28年11月20日(日)	受験生数	5人
⑦ミュージック・リベラルアーツ専攻AO入学試験	平成28年11月20日(日)	受験生数	2人
⑧ピアノ演奏家コース・エクセレンス選抜入学試験	平成28年12月4日(日)	受験生数	1人
⑨ピアノ演奏家コース優秀者選抜入学試験	平成28年12月4日(日)	受験生数	9人
⑩一般入学者選抜試験(A日程)	平成29年2月16日(木)～20日(月)	志願者数	361人
		受験者数	356人
		入学者数	269人
⑪一般入学者選抜試験(B日程)	平成29年3月22日(水)～24日(金)	志願者数	35人
		受験者数	32人
		入学者数	19人



<広報活動>

新しい試みとして、関西に住む受験生を対象に、大阪三木楽器開成館において、ピアノの出張レッスン及び学校説明会を実施した。

昨年に引き続き、ピアノと声楽の体験レッスンを4回実施した。

例年同様に、全専攻を対象としたオープンキャンパスを10月に実施した。

出張レッスン（大阪）では小学生からの参加を可能とし、50名近くの参加があった。大阪での開催は今後も継続し、他の地域にも拡大をしていく予定。

大学案内	6月発行 27,900部
東京音大ジャーナル	7月発行 45,000部、1月発行 40,000部
音大カレンダー	3月発行 7,000部
Music Liberal Arts	広報パンフレット 5月
学校見学会	個人 93組、団体 16校 (372名)
学校訪問	35校
オープンキャンパス	来場数 317組
体験レッスン	5月、6月、9月、3月 各 (声楽 20名、ピアノ 18名)
出張レッスン (大阪)	10月 50名
朝日新聞主催音大フェア	6月 個別相談対応 49組
日本留学フェア (台北)	7月 20組



4. 大学

(1) 教育活動

本学の教育内容をさらに充実させるため、平成28年度は下記の事柄に重点を置いて業務を行った。

- ① ミュージック・リベラルアーツ専攻の平成29年4月開講に向けての諸準備。
- ② セメスター制への移行期となる平成29年度学事歴案について検討を重ね、7月中に終了する春学期、9月初旬から始まる秋学期の学事歴を作成。
- ③ 基礎教育科目（教養科目と外国語科目）の履修者数や授業内容を見直し、平成28年度限りで『東京音楽大学入門講座（全専攻1年対象・2単位）』を廃止した他、外国語を8コマ削減した。
- ④ 現在の1コマ80分授業を、平成30年度より1コマ90分授業を実施するための授業時間案作成。
- ⑤ 平成29年度のシラバスを、教職課程認定の準備として文部科学省の指示に沿った内容に修正するため、教員に向けた説明会を開催した。シラバス第三者チェック作業をこれらの観点で踏まえて行った。
- ⑥ 単位の過剰登録を防ぎ、効果的な学習時間を確保するため、平成29年度生より1年間の履修単位数上限を48単位と定めた。（これまでは1～3年次48単位、4年次60単位であった。）
- ⑦ ピアノ部会より器楽専攻（ピアノ演奏家コース／ピアノ演奏家コース・エクセレンス／ピアノ／コンポーザー＝ピアニストコース／ピアノ・創作コース）のカリキュラム改正案が提出され、平成29年度の実施に向けて検討した。

・『ピアノ・プラクティカル・トレーニング』を3年次ピアノに科目新設

- ・『副科実技』にチェンバロとフォルテピアノを追加
  - ・『ピアノデュオ講座』の3年次必修を2~4年次選択に変更（平成29年度生より）
- ⑧ 声楽部会より平成30年度から実施予定の声楽専攻改革案が出され検討を始めた。

<上智大学との交流学生 50単位交換>

- 上智大学からの交流学生 (通年) 7名
- 東京音楽大学からの交流学生 (前期) 15名、(後期) 8名

<教職課程>

① 教職課程認定

文部科学省の教職課程認定に係る書類提出について（予告）により、本学の教職課程に必要な科目を担当する教員（非常勤も含む）に向けた説明会を開催し、履歴書と教育研究業績書の提出を依頼した。

② 教職課程履修学生（音楽学部生）

- ・平成28年度教育実習者数…………… 195名
- ・平成28年度教員採用試験受験者数 …… 31名
- ・教員採用試験合格者数 …………… 20名

③ 小学校教諭2種免許状取得講座《明星大学通信講座受講者数》 6名

- ④ 平成28年度介護等体験者数 特別支援学校（2日間） 178名
- 社会福祉施設（5日間） 175名

(2)演奏活動

本学主催演奏会8件（卒業演奏会、シンフォニックウインドアンサンブル定期演奏会、学内オーディション合格者によるソロ・室内楽定期演奏会、ピアノ演奏会、ピアノ教員演奏会、声楽教員演奏会、弦楽アンサンブル演奏会、オーケストラ定期演奏会）の他に、『コハーン・イシュトヴァーン クラリネットリサイタル』『東京音楽大学・京都市立芸術大学による吹奏楽の祭典 in KYOTO』等の特別演奏会と、『ミロスラフ・クルティシェフピアノリサイタル』『エリソ・ヴィルサラーゼミニコンサート及び公開レッスン』を開催し、国内外で活躍している演奏家との交流や、他大学との交流を図った。

合唱団においても、東京佼成ウインドオーケストラ、NHK交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団と共演し、好評を得た。また読売日本交響楽団との東京芸術劇場シアターオペラ vol.10 全国共同制作プロジェクト蝶々夫人については、合唱としてだけでなく演技についても大変高い評価を得た。（地域との連携によるコンサートは地域連携の項で触れる。）



① 主催演奏会

演奏会名	日時	場所	入場者数／客席数
卒業演奏会	2016年4月23日(土) 18:00 開演	東京文化会館小ホール	464名／649席

### Ⅲ 項目別概要

特別演奏会 コハーン・イシュトヴァーン クラリネットリサイタル	2016年5月21日(土) 16:00 開演	本学 A 館 100 周年記念ホール	634 名/806 席
東京音楽大学&村治ギター早期才能教育教室 学生ギター交流演奏会	2016年6月29日(水) 17:30 開演	本学 J 館スタジオ	117 名/250 席
土曜コンサートシリーズ Vol.12 アンサンブルコンサート	2016年7月9日(土) 16:30 開演	本学 B 館スタジオ	59 名/200 席
	2016年7月16日(土) 16:30 開演		70 名/200 席
シンフォニックウインドアンサンブル第 47 回定期演奏会	2016年7月14日(木) 18:30 開演	東京芸術劇場コンサートホール	1,575 名/1,999 席
学内オーディション合格者によるソロ・室内楽定期演奏会	2016年7月17日(日) 第 I 部 13:00 開演 第 II 部 15:30 開演	本学 A 館 100 周年記念ホール	428 名/806 席
ピアノ演奏会 ～ピアノ演奏家コース成績優秀者による～	2016年7月26日(火) 第 I 部 13:00 開演 第 II 部 15:30 開演 第 III 部 18:30 開演	東京文化会館小ホール	739 名/649 席
第 9 回ピアノ教員によるコンサート～ローナン・オホラピアノリサイタル～	2016年9月10日(土) 16:00 開演	本学 A 館 100 周年記念ホール	617 名/806 席
第 8 回声楽教員によるコンサート	2016年9月24日(土) 16:00 開演	本学 A 館 100 周年記念ホール	675 名/806 席
弦楽アンサンブル第 26 回演奏会	2016年10月22日(土) 17:00 開演	本学 A 館 100 周年記念ホール	550 名/806 席
特別演奏会 ミロスラフ・クルティシュェフ ピアノリサイタル	2016年11月5日(土) 18:00 開演	本学 A 館 100 周年記念ホール	504 名/806 席
シンフォニーオーケストラ定期演奏会	2016年12月6日(火) 19:00 開演	東京芸術劇場コンサートホール	1,463 名/1,999 席
特別演奏会 エリソン・ヴィルサーゼ ミニコンサート&公開レッスン	2017年2月5日(日) 14:00 開演	本学 J 館スタジオ	252 名/250 席

#### ② 外部団体からの出演依頼による演奏会（管弦楽・吹奏楽・合唱）

演奏会名（共演）	日時	場所	主催
第 679 回東京定期演奏会（本学合唱団共演）	2016年4月22日(金) 19:00 開演	サントリーホール	日本フィルハーモニー交響楽団
	2016年4月23日(土) 14:00 開演		
東京音楽大学シンフォニーオーケストラコンサート in 胎内（本学シンフォニーオーケストラ）	2016年6月5日(日) 14:00 開演	胎内市産業文化会館多目的ホール	新潟県胎内市教育委員会
第 129 回定期演奏会 ウインドオペラ～TKWO がつむぎ出す新しい世界（本学合唱団共演）	2016年6月11日(土) 14:00 開演	東京芸術劇場コンサートホール	東京佼成ウインドオーケストラ
東京音楽大学・京都市立芸術大学による吹奏楽の祭典 in KYOTO！（本学シンフォニックウインドアンサンブル）	2016年7月10日(日) 14:00 開演	ロームシアター京都メインホール	京都市、ロームシアター京都、京都市立芸術大学、東京音楽大学
NHK 交響楽団 90 周年&サントリーホール 30 周年記念 NHK 交響楽団特別公演（本学合唱団共演）	2016年10月6日(木) 19:00 開演	サントリーホール	NHK 交響楽団、サントリーホール

### Ⅲ 項目別概要

東京音楽大学シンフォニックウインドアンサンブル特別演奏会（本学シンフォニックウインドアンサンブル）	2016年10月16日(日) 14:00 開演	岡谷市文化会館カノラホール	長野県岡谷市文化会館
みないけコンサート（本学シンフォニックウインドアンサンブル）	2016年11月12日(土) 10:30 開演	本学 A 館 100 周年記念ホール	豊島区立南池袋小学校
第7回音楽大学オーケストラフェスティバル（本学シンフォニーオーケストラ・国立音楽大学オーケストラ）	2016年12月3日(土) 15:00 開演	ミュージア川崎シンフォニーホール	音楽大学オーケストラ・フェスティバル実行委員会
「第九」交響曲（本学合唱団共演）	2016年12月17日(土) 18:00 開演	横浜みなとみらいホール	日本フィルハーモニー交響楽団
「第九」交響曲（本学合唱団共演） 東京芸術劇場シアターオペラ vol.10 全国共同制作プロジェクト蝶々夫人（本学合唱団共演）	2016年12月21日(水) 19:00 開演	東京芸術劇場コンサートホール	日本フィルハーモニー交響楽団 東京芸術劇場
	2016年12月22日(木) 19:00 開演	サントリーホール	
	2016年12月23日(金・祝) 15:00 開演	杉並公会堂	
	2017年2月18日(土) 14:00 開演	東京芸術劇場コンサートホール	
東京芸術劇場シアターオペラ vol.10 全国共同制作プロジェクト蝶々夫人（本学合唱団共演） 第6回音楽大学フェスティバルオーケストラ演奏会（9音楽大学選抜学生メンバー）	2017年2月19日(日) 14:00 開演	東京芸術劇場コンサートホール	東京芸術劇場 音楽大学オーケストラ・フェスティバル実行委員会
	2017年3月25日(土) 15:00 開演	ミュージア川崎シンフォニーホール	
第6回音楽大学フェスティバルオーケストラ演奏会（9音楽大学選抜学生メンバー）	2017年3月26日(日) 15:00 開演	東京芸術劇場コンサートホール	音楽大学オーケストラ・フェスティバル実行委員会

#### ③ 外部団体からの出演依頼による演奏会（アンサンブル・ソロ）

演奏会名	日時	場所	主催
東京音楽大学プロデュース ランチタイムコンサート	2016年4月～ 2017年3月 毎月第二金曜日 12:15～12:45 年12回	ベーゼンドルファー東京展示サロン	ベーゼンドルファー東京
第17回新人演奏会	2016年4月25日(月) 17:00 開演	東京文化会館小ホール	日本ピアノ調律師協会
第86回読売新人演奏会	2016年5月4日(水・祝) 11:00 開演、17:00 開演 2016年5月5日(木・祝) 11:00 開演	東京文化会館大ホール	読売新聞社
東京音楽大学提携シリーズ 北本ガラ・コンサート	2017年3月4日(土) 13:00 開演	北本市文化センターホール	北本市文化センター
京都・国際音楽学生フェスティバル2016	2016年5月21日(土) ～25日(水)	京都府立府民ホールアルティ	ロームミュージックファンデーション
東京音楽大学 表参道サロンコンサートシリーズ	2016年6月、10月、 12月、2017年2月	カワイ表参道コンサートサロン「パウゼ」	カワイ音楽振興会

### Ⅲ 項目別概要

	19:00 開演 年4回		
東京音楽大学コンサートシリーズ in ヤマハ銀座	2016年5月27日(金) 2016年9月7日(水) 19:00 開演	ヤマハホール	ヤマハ株式会社

#### レインボウ 21 サントリーホールデビューコンサート 2016

本学学生の企画と

東京音楽大学プロデュースによる

「プーランクの横顔～そのとき彼が見たもの～」

2016年6月8日(水) 19:00 開演

サントリーホールブルーローズ

主催：サントリーホール



#### ④ 第15回 東京音楽大学コンクール

平成28年度は、声楽部門とピアノ部門を対象として実施した。

それぞれの部門で5人の入賞者を選び、第1位～3位に賞金と賞状、また入選者には賞状を渡した。

部門名	日時	場所	参加者(結果)
声楽部門(予選)	2016年11月10日(木) 12:00 開演	本学 A 館 100 周年記念ホール	32名(応募33名、棄権0名、失格1名)
ピアノ部門(予選)	2016年11月9日(水) 10:00 開演		27名(応募35名、棄権1名、失格1名)
声楽部門(本選)	2016年11月18日(金) 16:00 開演	本学 A 館 100 周年記念ホール	5名(第1位1名、第2位1名、第3位1名、入選2名)
ピアノ部門(本選)	2016年11月17日(木) 13:00 開演		5名(第1位1名、第2位1名、第3位1名、入選2名)

#### (3) 学生支援

- ① 東日本大震災(平成23年3月11日発生)の支援対象となった学生に対して、学費の免除や減免等の経済的支援を継続すると共に、熊本地震(平成28年4月14日発生)により実家が被災した学生に対してリサーチ及び面談を行いその被害状況に応じ必要とされる支援を東日本大震災時と同様に行った。支援実績は以下のとおり。

熊本地震による被災学生支援	家屋の全壊 (50%以上)	大規模半壊 (40%以上)	家屋半壊 (20%以上)	小規模半壊 (20%未満)	半径20Km 圏内	計
大学院生	—	—	—	—	—	—
大学生	1	1	9	0	3	14
附属高等学校生	—	—	—	—	—	—

- ② 学生支援課をはじめ、医務室や学生相談室等において日頃の悩みや問題を訴える学生は年々増加傾向にある。平成 28 年度に学生相談室を利用した人数は 63 名(学生・保護者・教職員を含む)で、延べ 395 件の面談及び 258 件の連携活動を行った。学部・大学院生の全学年を対象に UPI (University Personality Inventory)調査(回収率 94.2%)を実施。サポートが必要な学生を見極め、問題が深刻化する前に来談に繋げるための呼びかけ(対象率 18.8%・270 名)を行っている。また「精神保健上治療を必要とする学生対応ガイドライン」を基に、学生の精神的・身体的危機回避率を高めるため、教職員に対する理解を継続的に広めて行く。
- ③ 学業成績が特に優秀な学生・生徒及び音楽活動に極めて優秀な成績を修めた者を対象に奨学金制度を実施しており、平成 28 年度は 106 名を奨学生として褒賞した。給費奨学金の規程を見直し、学生の実力に対する評価をより正当に反映させ得るよう、給付額に幅を持たせるための改正を行った。

	奨学生数				計
	博士	修士	大学	高校	
特別特待奨学生	1	7	24	8	40
給費奨学生	準特別	1			1
	甲種	5	18	34	57
給費入学奨学生	甲種			2	2
	乙種				
特待奨学生	甲種			3	3
	乙種			3	3
計	7	25	58	16	106

- ④ 平成 25 年 6 月に制定された「障害者差別解消法」に基づき、障がい学生支援委員会が立上げられ、同委員会規程が制定され、学生支援課が支援要請の窓口となった。各支援対象者ごとに小委員会及び関係部署が連携して必要な支援を行っていく。平成 29 年度には視覚障害者の入学が予想されたため、その受入対策の検討と準備に着手した。また、ミュージック・リベラルアーツに入学する日本語能力の低い外国人留学生と、在学する中国人留学生への支援を行うための相談窓口の設置準備が開始された。
- ⑤ 目白台学生寮では緊急災害に際し寮生の人命尊重を第一とし、安全かつ迅速に避難ができるよう、地元消防署の協力を得て防災訓練(初期消火訓練、三角巾等)を実施した(参加寮生 105 名)。大学の代官山移転を視野に入れた新しい寮の在り方を検討するため「新学生寮検討作業部会」が発足。

ロケーションをはじめ、新築・中古(含リノベーション)、設備等についてのあらゆる可能性を視野に、合理的な検討を行い、2019(平成31)年4月の新寮開設のため準備を進める。

(4)キャリア支援

- ① 「平和の響き」をテーマに、広島・原爆ドーム前(8月7日)、京都・清水寺(8月9日)、神奈川県民ホール(8月12日)、東京・東京駅前行幸通り(8月13日)で、ドイツバイエルン州立青少年オーケストラと本学の学生が共演。文化力発信プロジェクトの学生が企画・運営に関わった。
- ② 羽田空港フライトデッキトウキョーに於いて、2017年1月9日(祝)、10日(火)の2日間、「羽田音楽祭」を実施した。



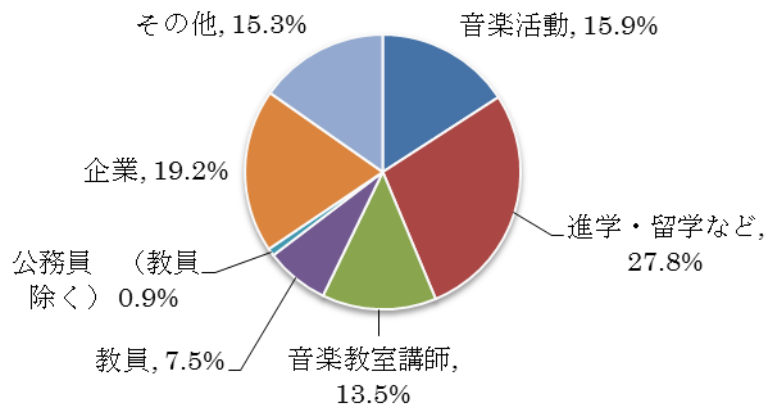
平和の響き(指揮:ニコラス・ラウス)



羽田音楽祭(指揮:広上淳一)

- ③ 就職特訓講座  
9月12日(月)～3月27日(月) 将来一流企業への就職を目指す学生に対し、全21回の講座を実施し、就職活動に役立つ実践的な講義を行った。
- ④ インターンシップガイダンスを開催  
6月13日(月) 来年度に就職活動を控えた学部3年生、修士1年生を対象にインターンシップガイダンスを開催。学部生69名が参加した。
- ⑤ 学内企業説明会の開催  
1月23日(月) 三井住友フィナンシャルグループ、3月14日(火) 三菱UFJフィナンシャルグループによる説明会を実施した。企業の御協力のもと、本学生に向けた説明会が行われた。

平成28年度学部卒業生の進路



(5)国際交流

スペインのバルセロナにあるリセウ音楽院と新たに提携を結ぶことが出来た。  
提携校への短期留学生の派遣、及び提携校からの本学への受入は以下の通り。

① 短期留学生の派遣

モーツアルテウムサマー・アカデミー	7月～8月の2週間 声乐2名 弦楽器1名 ピアノ1名 管楽器2名
ロイヤルアカデミー・オブ・ミュージック	9月～半学期 ピアノ1名
ハノーファー音楽・演劇・メディア大学	10月17日より4週間 ピアノ1名
シベリウス音楽院	9月～半学期 管楽器1分
ギルドホール音楽院	10/3から3週間 ピアノ2名
リュエイユ=マルメゾン音楽院	10/3から3週間 管楽器1名
ローマ・サンタ・チェチーリア音楽院	3月31日より2ヵ月半 声乐1名

② 交換留学生の受入

インターナショナル・アンサンブル・ <del>ル</del> ルデン・アカデミーから 12月13日～17日	作曲芸術1名、博士後期課程1名
シベリウス音楽院から 9月～1年間	作曲芸術1名、民族音楽1名

③ イングリッシュ・スタディー・センター

本学の学部学生、大学院生の英語能力の向上に資するため、以下の3点を行った。

1. イングリッシュ・セントラルと契約をしてスカイプ及び動画による英会話のレッスン。
2. 外部講師、ロジャー・ジョーンズ氏とのスカイプによる上級英語レッスン。
3. イアン・ブキャナン先生（附属高校英語 AT, イギリス国籍）との個人レッスン。

④ 招聘演奏家による公開レッスン

・ 声楽公開レッスン

4月18日(月)	リカルド・タムラ	テノール歌手 (メトロポリタン歌劇場)
6月13日(月)	大賀 寛	(財)日本オペラ振興会常任理事
10月31日(月)	塩田明弘	ミュージカル指揮者・音楽監督

・ 管打楽器公開レッスン

[フルート]

4月18日(月)	パトリック・ガロワ	フルーティスト、指揮者
----------	-----------	-------------



#### [打楽器]

- 6月27日(月) エイドリアン・スピレット バーミンガム市交響楽団打楽器首席奏者  
 10月8日(土) トーマス・レヒナー ウィーンフィル/ウィーン国立歌劇場ソリスト、  
 グラーツ芸術大学打楽器科教授

#### [ユーフォニアム]

- 11月16日(木) バスティアン・ボーム フランス国立警察音楽隊

#### [ホルン]

- 11月24日(木) ヨハネス・ヒンターホルツァー カメラータ・ザルツブルク首席奏者  
 ミュンヘン音楽・演劇大学教授

#### [クラリネット]

- 11月24日(木) フィリップ・ベロー パリ国立高等音楽院教授

#### ・弦[チェロ]公開レッスン

- 6月9日(木) ルイス・クラレット ニューイングランド音楽院教授

#### ・指揮公開レッスン・公開講座

- 6月28日(火) 徳永二男 ヴァイオリニスト、桐朋学園大学特任教授

- 12月9日(金) 扇谷勉 NHK エンタープライズ・エンターテイメント  
 番組部エクゼクティブ・プロデューサー

#### ・作曲公開講座

- 4月28日(木) イヴァン・フェデーレ イタリア現代音楽作曲家

- 6月10日(金) ピーター・ヴィール オーボエ奏者

- 6月16日(木) 菅原幸子 ザールブリュッケン音楽大学客演教授

- 7月7日(木) 本堂 毅 東北大学大学院理学研究科准教授

- 10月31日(月) デイビッド・イーグル カルガリー大学教授

## 5. 大学院

平成26年4月に開設した「博士後期課程」では、専門分野の研究能力をより一層高め、総合的な知見と社会的・実践的能力を修得して世界の第一線で活躍する人材を養成することとしており、平成29年3月に初の「博士(音楽)」の学位を2人(ピアノ1人、声楽1人)の修了生に授与した。



第1回 博士学位授与式

### ① 博士後期課程学生の奨学金の選考

博士後期課程学生に係る奨学金の選考を博士課程委員会において行い、平成28年度は1年生1人・2年生1人・3年生3人(計5人)を甲種奨学生(年額50万円)として、2年生1人を準特別奨学生(年額100万円)として選考。また、理事会において、1年生1人を特別特待奨学生として選考。

② 博士共同研究 A 第 3 回レクチャーコンサートの企画・実施

博士後期課程授業「博士共同研究 A」の研究成果発表として、学生・教員によるレクチャーコンサートを平成 28 年 11 月 30 日(水)に学内ホールで実施。一般公開。来場者数 114 人。



博士共同研究 A レクチャーコンサート

③ 博士共同研究 B 第 2 回レクチャーコンサートの企画・実施

博士後期課程授業「博士共同研究 B」の研究成果発表として、学生・教員によるレクチャーコンサートを平成 29 年 2 月 4 日(土)に学内ホールで実施。一般公開。来場者数 83 人。

④ 博士リサイタル試験の実施

博士後期課程の 1 年生 4 人(ピアノ 1 人、サクソフォーン 1 人、声楽 2 人) 及び 2 年生 2 人(チェロ)による博士リサイタル試験を各学生ごとに学内ホールで実施。一般公開。来場者数は延べ 536 人。

⑤ 博士論文等審査の実施

学位申請者 6 人について、博士論文審査及び博士演奏等審査(器楽・声楽・作曲分野のみ)を実施。博士論文審査は予備審査(非公開)と本審査(公開)により実施。博士演奏等審査は演奏会形式により 5 人の申請者ごとに公開で行った。来場者数は延べ 416 人。



大学院修士課程 学位記授与式

⑥ 博士後期課程設置計画履行状況等調査の結果

平成 29 年 2 月 17 日付けで文部科学大臣から、平成 28 年 5 月に本学が提出した「平成 28 年度設置計画履行状況等調査書」の審査結果について、「大学設置・学校法人審議会大学設置分科会における審議の結果を踏まえ、意見は付さない。」こととした旨通知があった。この書面調査による審査は、博士後期課程設置(平成 26 年 4 月)以降、毎年受けていたもので、今年度は最終年次に当たる。

⑦ 東京音楽大学大学院オペラの上演(修士課程)

平成 28 年 10 月 13 日(木)に團伊久磨「夕鶴」を、平成 28 年 10 月 16 日(日)にモーツァルト「ドン・ジョヴァンニ」を、100 周年記念ホールで上演した。



大学院オペラ「ドン・ジョヴァンニ」

## 6. 教員研究費

### 個人研究費

専任教員 122 名中 92 名(75.4%)から申請があり、支出総額は 1,565 万円(内訳、図書費 297 万円、国内研究旅費 90 万円、教材その他 1,178 万円)であった。

### 公的研究費(科学研究費基金)

本学の教員 6 名が継続研究課題で総額 522 万円(内直接経費 420 万、間接経費 102 万円)の科学研究費を獲得した。この他に他大学の研究代表者から研究分担者に指名されている本学教員が 2 名いた。公的研究費の今後の大学としての課題は、文科省からの「研究活動における不正行為への対応等に

関するガイドライン」に基づき、全教職員へのコンプライアンス教育、不正防止への厳格な取組、及び間接経費の使用に関する方針の作成や間接経費で研究活動をどのように支援していくか、また、間接経費に関してもその用途に対する教員への説明が求められるようになった。

## 7. 地域連携・社会人講座

### 地域連携

大きな地域イベントとしてはシンフォニックウインドアンサンブルが長野県信濃町主催『癒しの森コンサート Vol.6』に出演し、また長野県岡谷市文化会館カノラホールでの『東京音楽大学シンフォニックウインドアンサンブル特別演奏会』にも出演、レベルの高い演奏を披露し長野県内卒業生や中学・高校生ほか、一般市民を魅了した。シンフォニーオーケストラは、新潟県胎内市産業文化会館多目的ホールにおいて『東京音楽大学シンフォニーオーケストラコンサート in 胎内』、『第7回 音楽大学オーケストラ・フェスティバル』に出演し好評を博した。毎年継続的に行っている地域連携事業は以下のとおり。

#### ① としまコミュニティ大学 開校式でのミニコンサート

としまコミュニティ大学講座（豊島区と区内大学との連携・協働に関する包括協定）

開催日	講座	講師
10月8日	声と歌のびっくり箱	水野賢司
11月26日	シェークスピアとオペラ	伊藤隆浩
12月10日	楽曲構成法としての反復について	坂崎則子
1月28日	ニッポンの伝統楽器	太田暁子



写真は伊藤隆浩 講師

- ② みないけコンサート（豊島区南池袋小学校主催／平成 13 年から実施）
- ③ 区民ひろば回遊音楽キャラバン（豊島区主催／平成 26 年から年 8 回）
- ④ 第 6 回 癒しの森コンサート（長野県信濃町森林療法研究会と連携協定／平成 23 年から実施）
- ⑤ 豊島区庁舎ランチタイムコンサート（豊島区主催／昭和 63 年から年 6 回実施）
- ⑥ ACT J ロビーコンサート（平成 21 年度から豊島区の後援を得て年 6～8 回実施）
- ⑦ 北本市文化センター ロビーコンサート（音楽文化事業の連携に関する協定／年 4 回実施）

### 社会人講座

社会人講座「声楽・合唱講座」を実施し、社会人教育にも力を注いだ。ベートーヴェン「第九」を教材に 57 名が受講し、内、40 名が合唱講座と併せて声楽の個人レッスンも受け、講座修了日に 100 周年記念ホールで『ベートーヴェン第九発表会』で公開し、学習の成果を披露した。



## 8. 後援会・校友会

### 後援会による学生支援制度

演奏会支援 27 件、視覚取得支援 79 件、音楽コンクール参加支援 145 件、福利厚生施設利用助成 2 件、この他、図書整備費、カウンセリング費、インフルエンザ予防接種費を支援するとともに、教育ローン金利補助等を行った。後援会総会が 5 月 20 日（土）13:00～本学の J スタジオで開催された。

### 校友会支部演奏会

全国 34 支部の内、23 支部で演奏会が開催され、内 20 の支部に本学から教員を派遣し当該校友会支部と本学との交流に務めた。校友会総会が 5 月 14 日（日）13:30～本学 A200 教室で開催された。

## 9. 付属図書館

大学内での情報リテラシー教育を図書館が担うよう求められるようになって久しい。当館の業務も年々、改善・見直しを図っている。加えて、数年後に迫る新校舎の開校も視野に入れながら、一般的な社会の流れ、要求に応じていける大学図書館運営を目指している。主要業務は以下の通りである。

- ① 資料の選書・収集・整理・OPAC 公開、専用システム上での運用管理
- ② 利用者教育と利用者サービスの強化、館内 Wi-Fi の導入
- ③ ホームページや冊子、他による広報活動、英語サイトの作成
- ④ 機関リポジトリの管理運営とアーカイブ機能強化に向けての準備
- ⑤ 展示・イベント等を通じた学内関係者成果発表及び利用者啓蒙と地域貢献



図書館ライブラリ－セミナー



レクチャーコンサート

- ⑥ 紀要、大学院論文集等の編集、発行、配付、リポジトリでの公開
- ⑦ 特殊な寄贈資料の整理・運用と貴重資料のマイクロ化・デジタル化
- ⑧ 新校舎開校に向けての図書館機能の再検討と業務の見直し

## 10. 付属高等学校

### (1) 教学に関する実施報告

- ① 飛び級制度の実施（2 年次修了生 1 名が大学へ進学）
- ② 留学生、帰国子女入試の実施
- ③ 音楽総合コースのカリキュラム内容検討
- ④ 生徒多様化に即したカリキュラム、指導のあり方の検討
- ⑤ 台湾の数校の中学、高校との交流

### (2) 広報活動報告

- ① 海外日本人学校、台北留学フェアにおける高校説明会の実施
- ② 東京私立中学高等学校協会による学校説明会の実施

- ③ 海外帰国子女フェアにおける学校説明会の実施
- ④ 学校訪問、楽器店訪問（計約 50 ケ所）での広報活動、学校説明の実施
- (3) 中期計画に関する報告
  - ① 高校移転を見据えた、高大連携カリキュラム検討委員会、移転委員会、移転申請準備委員会の設置
  - ② 上記各委員会における具体的事項の検討、東京都私学部との協議の実施
  - ③ 大学学事暦変更に伴う学期制、行事、学則の見直し
  - ④ 単位制移行への検討

## 11. 付属幼稚園

平成 28 年度は、3 年保育 42 名、2 年保育 6 名、計 48 名の新入园児を迎え、年少 42 名、年中 47 名、年長 49 名の合計 138 名でスタートした。未就園児対象のピッコロランドは満員で好評であった。預かり保育の利用者も、毎日・長時間利用の月極申込者が増加、単発利用も合わせると、1 日平均 50 名余りの利用があった。日々のきめ細やかな保育、充実したカリキュラム、そして音大付属であるという最大限の特色を生かした幼稚園であることを誇れるよう、尽力してゆきたい。

## 12. 付属音楽教室

- (1) 付属音楽教室の平成 28 年度在籍者数
  - ① 在籍者数 107 名（入室生 71 名、オープンシステム受講生 36 名）
  - ② 付属幼稚園ソルフェージュクラス 29 名（園児 22 名、卒園児 7 名）
- (2) 平成 28 年度の演奏会
  - ①学外演奏会：平成 28 年 7 月 17 日（日） トッパンホール 集客数 314 名
  - ②学内演奏会：平成 28 年 11 月 19 日（土）東京音楽大学 A 館 100 周年記念ホール  
（ゲスト演奏／第 5 回日本香港国際音楽コンクール第 1 位 Lee Tsz Yui）集客数 314 名
- (3) 平成 28 年度のコンクール入賞：全日本学生音楽コンクール東京大会入選 3 名

## 13. 付属民族音楽研究所

ヨーロッパの音楽を研究、教育している本学において、日本民族として音楽の世界における我々の位置を知る事は極めて重要である。

その見地から本学学生に対して、音楽の民族的多様性を知ってもらうと同時に、個々の音楽スタイルの固有性について、研究や資料を提供して行く。

- (1) 上記を踏まえた学部の授業展開
  - ① 大学院授業「邦楽・古楽・民族楽器演習Ⅰ」…通年授業(継続)
  - ② 「アジア音楽の理論と奏法」…全学年対象の通年授業(継続)
  - ③ 特別実技科目「ガムラン演奏コース(合奏・舞踊)」…全学年対象の通年授業(継続)
- (2) 一般社会人向け事業展開…多様な音楽文化への興味を社会に広げることを目指した。
  - ① 社会人「民族音楽等社会人特別講座」…本学大学院と共催(継続)

- ② 社会人「ガムラン講座」…通年講座・合奏講座と舞踊講座
- ③ 社会人「民族楽器入門講座」…春と秋の2回実施・6週間の短期開催・各19講座実施。

(3) 公開講座

- ① 「伊福部昭の原点を探る」(7/13)
- ② 「シルクロード楽器の響き～中国現代箏篋芸術の発見と伝播」(9/6)
- ③ 「インド音楽の哲学～ドゥルバト歌謡から」(9/30)
- ④ 伊福部昭の遺した楽器～明清楽器を聴く 其の六」(10/21)
- ⑤ トランシルヴァニアの鼓動～Zoord(口琴)」(11/21)
- ⑥ 池辺晋一郎～音楽をする人に伝えたいこと」(6/14)  
「池辺晋一郎～誰の心の中にもある音楽」(2017/2/7)



14. 財務報告 (別冊)